



◆岡山勝廣さん、議会で

所信表明演説を行う◆

岡山勝廣さんが一般質問の冒頭で所信表明演説を行いました。

(前略)

私は、村議会議員に立候補するにあたり、「創ろうみんなで、住み良い六ヶ所(ふるさと)」をスローガンに、また、具体的政策として「農業、漁業、畜産業の連携による循環型社会の基盤整備、強化」「商工業の振興、誘致企業と地元企業の共生」「教育、医療、福祉の充実と、高齢者が生きがいをもてるふるさとづくり」の三つを公約として掲げ、村民の皆様にご理解と御支援を訴えてまいりました。幸いにも当選させていただきました。こうして議員として壇上に立たせていただきましたからには、村民にお約束した公約の一つひとつ

の実現に向け、全力を傾注し活動することが私の使命であると、いま改めて認識しているところであります。(中略)初心者としての素直な心で現実を捉える目を養うとともに、村民の生の声に耳を傾け、それによりこれまで培ってきた農業者、事業者としての経験を生かしたアイデアと行動で、公約の実現に向けて活動してまいりたいと考えております。(中略)それでは、通告に従って一般質問をいたします。」

●岡山勝廣さん、

一般質問に立つ!

岡山勝廣さんが具体的政策に挙げている「農業、漁業、畜産業の連携による循環型社会の基盤整備、強化」を実現すべく、一般質問に立ちました。その内容と古川村長の回答について報告します。

畜産業編

質問1

家畜排せつ物処理法に対する補助事業の取組み実績、及び今後の計画について

古川村長

村では、これまで関係酪農協と連携を図りながら畜産農家に対して、法律の内容について理解を深めていただくよう説明会などの開催を実施するとともに、施設整備が容易にできるよう一部助成事業を実施し対処しているところです。

補助事業の実施状況については、整備対象農家77戸に対し、平成14年度までに14戸が整備を完了、本年度は12戸の内定を受け、申請中です。また、村として執行猶予期間までに、対象農家全戸の整備が完了出来るよう、国の補助整備枠の拡大について県を通じて強く要望しているところです。併せて、未整備農家については簡易堆肥場でも対応できることか

(次項に続く)

